



新型コロナウイルス感染拡大防止の為、様々な活動に制限が出ています。これにより、現場は不安や悩みを抱えますが、同時に新たな創意工夫が生まれています。「つながる通信」では、そうしたコロナに負けない地域の繋がりやパワーを発信し、各地でお役立ていただく一助となれればと願っております。

取材先

九合地区 飯塚町 & 龍舞町 「菜友会」

さいゆうかい



「菜友会」が発足したのは、遡ること48年前。昭和48年から続く家庭菜園の仲間たちです。

なかにわみつお

いいぶりゆきお

たわらやまひでとし

飯塚会長の中庭三夫さん、龍舞会長の飯降幸雄さん、幹事長の俵山秀俊さんを中心に会員数は70名ほど。60代から80代まで幅広い年齢層の方々が活動されています。飯塚町には7か所、龍舞町に2か所、それぞれの菜園に名前をつけるなどし、野菜作りに励んでいます。毎年、菜園でできた自慢の野菜を持ち寄り、**品評会**を行ったり、会長宅の芝生では気仙沼直送のさんまを焼き、**さんまパーティー**を開催しています。(現在はコロナ下で中止)



松の木がシンボル松原菜園

以前は大手メーカーに勤務されていた、みなさん。ほとんどの方の地元は太田市ではありません。仕事を一生懸命頑張ってきたからこそ、地域との関りかたが難しいとよく耳にします。「菜友会のメンバーは菜園を通して**今ではすっかり地域に溶け込み、菜園が地域とつながるきっかけの一つになった。**」と中庭会長は話してくれました。

裏面へ続きます→

